



毎年恒例の豆まきをしました。節分は「立春」の前日にあたりますが、立春は暦の上で春が始まる季節のことで、翌日から新しい季節が始まる区切りの日となります。そのため、邪気や悪いものを落として、新しい年に幸運を呼び込むことを目的に、節分という行事が行われてきました。みんなが健康で幸せに過ごせるように願って、悪いもの(鬼)を追い出す日でもあります。今年も、新人君が鬼の役をしましたが、皆さん「鬼は外！」と言うより、「豆が美味しいなあ！」と食べる方が夢中でした。鬼さんも豆まきの後は、ご利用者様と記念撮影をしました。

ご利用者様の作品紹介



花咲かじいさんの素敵な絵をありがとうございます。

折り紙も素晴らしいです。
蓮の花と花束



お金がかかる老後の暮らし

総務省の家計調査では、退職後も生活費は退職前の75%が必要になるとのことです。世帯主が60歳以上で無職である世帯(世帯員が2人以上)の家計で、1ヵ月間に約6.1万円が不足しています。老後の期間が30年だとして、

$6.1\text{万円} \times 30\text{年} \times 12\text{ヵ月} = 2,196\text{万円}$

男女とも、生活に困窮している、いわゆる「下流老人」が増えてはいますが、特に女性の方が経済的な危機に陥るリスクは高いので、若いうちから対策に取り組んでおく必要があります。

「要介護1~2の段階である2年間は訪問介護や通所介護などを利用しながら自宅で介護を行い、要介護3以上になった3年間を特養で入居生活を送る」という状況を想定すると、経産省の試算では、老後におよそ2,500万円の貯蓄、資産が必要とされています。老後の事を考えて、若いうちに貯蓄を考える必要がありますね。